

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

中部西小学校の子どもたちの健やかな成長と願い支えるために、保護者や地域のニーズを把握しながら、互いに協力しあって、対話と参加参画による特色ある学校づくりを推進することをねらいとしています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

① 運営協議会会議運営について

本校では運営協議会の会議（学校参画委員会）を年間5回開催しています。そのうちの4回は拡大参画委員会として、民生委員や地域の各団体の代表者などを含めた約40名を加えて開催しており、グループ討議を行うなど、より多くの地域の方の意見を学校運営に反映できるように工夫しています。

② まちかど音楽会

本校の校区は古くから商店街として発展してきましたが、地域の方々の学校に対する思い入れを強く感じる地域でもあります。そこで学校公開など、地域の方々を学校に招く取組を行っていますが、平成23年からは、子どもたちが地域に出かけるという発想で、「まちかど音楽会」と名付けた音楽会を、校区の特徴である商店街のアーケードの中で開催し、今年度で8回目となりました。



運営は、学校だけではなく地域からボランティアを募り、企画段階からご協力いただいています。

当日は、早朝からたくさんの保護者、地域の方々が運営スタッフとして集まり、会場設営、音響装置の設置、防犯対策、トイレへの誘導などにご協力いただきました。そのおかげで、子どもたちは当日までの練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい合唱を商店街に響かせることができました。

③ 防災教室

今年度も自治会の協力を得て、5年生とその保護者も含めた防災教室を行いました。担架づくり、発電機の使い方、土嚢の作り方を学習したり、家から非常持ち出し袋を持ち寄り、他の家庭のものと交流しながら中身の必要性につい

て考えました。日常的に防災に意識を持つことの大切さや、いっどこで災害に遭遇しても家族としてできることは何かを考える良い機会となりました。



④ 「中部西小学校の今と昔」

学校参画委員の方に来校していただき、3年生が本校の今と昔の様子について学習しました。前半は明治時代から現代までの本校の歴史を、写真や地図を使ってわかりやすく説明していただきました。本校のシンボルである“むくの木”が3回も場所を変えながら大切にされていることがよくわかりました。

後半は本校の郷土資料室で昔懐かしい道具を実際に触って、道具の使い方を学ぶことができました。本校の卒業生である保護者から当時の様子を子どもたちに話す姿もみられ、話がはずみました。



⑤ 平和学習

老人会を中心とした地域の方々に、6年生が戦争体験についてお話を聞かせていただきました。社会科でも戦争について学習はしていたものの、子どもたちにはまだまだ知らないこと、聞いてみたいことがたくさんありました。それを経験した方に直接聞かせていただけるということで、子どもたちは大変興味を持ってお話を聞きました。あらためて平和の大切さや今の暮らしが当たり前ではないということを考える機会となりました。

⑥ 「ふれあい！グラウンドゴルフ」

老人会の方々に来校していただき、2年生が保護者と一緒にグラウンドゴルフを体験しました。この取組は学校公開日に行う予定でしたが、老人会から、1日だけの取組だけではなく、事前に子どもたちに指導したいとお申し出いただきました。



当日も老人会の皆様には早朝から準備等にご協力いただきました。授業中、子どもたちは1回目で得たコツを2回目で発揮しようと意気込んだ様子で、保護者にコツなどを教える姿が見られました。

⑦ ふれあいパトロール

子どもたちの安全な下校、防犯の役目を果たす。また、声を掛け合うことで、

子どもたちとより親しい関係を築くとともに、コミュニケーション豊かな地域づくりにつなげることを目的としています。現在、約 70 名の地域の方にボランティアとして登録していただき、年 7 回、下校時の見守り活動を行っています。

⑧ 学習支援ボランティア等

授業、クラブ、委員会での学習支援ボランティアをはじめ、朝の読書の読み聞かせを行う図書支援ボランティアの方々に 1 年間お世話になりました。特に家庭科などの実習でボランティアの方に入っていただくことで、より極め細やかな指導が実現することと、危機管理という観点からも大変助かりました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校評価保護者アンケートの項目「学校は、保護者や地域の方々、ボランティアなどの協力を得た教育活動や体験活動（生活科、総合、社会見学等）の充実に努めている。」に 98%の保護者から肯定的な評価をいただきました。

春秋の学校公開では、「防災教室」、「グラウンドゴルフ」、「中部西小学校の昔と今」などの参画型授業を行い、地域のゲストティーチャーの協力を得て、子どもと保護者が共に学ぶ姿が見られました。「まちかど音楽会」は、商店街のアーケードの中で全校児童が合唱するという取組が地域に定着し、今年度も企画段階から地域のボランティアに参加していただき、学校と地域が連携した取組が定着しています。

このように学校行事をはじめ、日常の教育活動においても地域の方々の見守りと協力が欠かせないものとなっています。

3 今後に向けて

今年度も学校参画委員会において、「ふれあいパトロールで、元気な挨拶がたくさん返ってくるようになった。先生方の努力が分かる。」、「防災学習は学校公開だけではなく取り組んでほしい。」、「“家庭学習のすすめ”にもう一工夫ほしい。」など、様々なご意見をいただきました。

四日市版コミュニティスクールに指定され 13 年目となりましたが、これら学校参画委員会からのご意見を参考にして、より良い教育活動を作り上げていくというサイクルが築き上げられてきたように考えます。

一方では、内容の固定化や、行事の大規模化に伴い、運営の負担も増しているという課題があります。良いものについては定番化することも必要ですが、新たな取組への転換も模倣する必要があると考えます。今後も学校参画委員会をはじめ、保護者、地域の皆さんと連携し「地域とともにある学校」づくりを目指して取組を進めます。

別紙B

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立中部西小学校

委員長 中村 裕行

校長 小倉 秀樹

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回学校参画委員会 (拡大委員会) ふれあいパトロール 春の学校公開(2日間)	今年度の活動について 下校見守り 参加参画型授業
6	ふれあいパトロール	下校見守り
7	第2回学校参画委員会 (拡大委員会)	春の学校公開及び1学期の取組の報告
8		
9	ふれあいパトロール	下校見守り
10	ふれあいパトロール	下校見守り
11	ふれあいパトロール 秋の学校公開 まちかど音楽会	下校見守り 参加参画型授業 商店街での音楽会
12	第3回学校参画委員会 (拡大委員会)	秋の学校公開及びまちかど音楽会の報告
1	ふれあいパトロール 第4回学校参画委員会	下校見守り 学校評価・来年度学校づくりビジョンについて
2	ふれあいパトロール 第5回学校参画委員会 (拡大委員会)	下校見守り 学校評価について、来年度の方向性について
3		